

生成AI、欧州知財の今と未来

欧州のAI x 知財：基本ルール



発明者・著作者は「人間」のみ

欧州特許庁(EPO)はAIを発明者と認めず、著作権も人間の関与が前提です。



AI学習データの透明性義務

EUのAI法は、AI提供者に学習データの概要公表を義務付けています。



著作権データの無断利用は禁止

権利者が許可していない著作物をAIの学習に使うことは原則として違法です。

実務におけるAI活用ユースケース



先行技術調査の高度化

AIが膨大な文献から関連技術を意味(セマンティック)で検索・発見します。



特許明細書ドラフトの効率化

AIが下書きを生成し、専門家が修正・補完するワークフローが試行されています。



商標・契約レビューの自動化

類似画像商標の検索や、契約書のリスク箇所抽出をAIが瞬時に行います。

潜むリスクと必須の対策



ハルシネーション(情報の誤り)

AIは事実無根の回答を生成することがあり、専門家によるファクトチェックが不可欠です。



機密情報と個人データ漏洩

外部AIへの機密情報の入力に注意。GDPR(一般データ保護規則)遵守が必須です。



最終責任は人間にあり

AIはあくまで補助ツールであり、その出力内容に対する最終的な専門的責任は人間が負います。

潜むリスクと必須の対策